

Leaf phenological traits in the mangrove *Kandelia candel* (L.) Druce. *Aquat. Bot.* 68: 1-14.

Hayasaka, E. and H. Ohashi, 2000. New combinations in Japanese *Schoenoplectus* (Cyperaceae) *J. Jpn. Bot.* 75: 223-225.

Matsuo, M. and H. Shibayama, 2000. Role of hypocotyl hairs in adhering strength and establishment of juvenile seed-

lings of *Monochoria vaginalis* to different seed beds. *J. Weed Sci. Tech.* 45: 190-199.

Takemura, T., N. Hanagata, K. Sugihara, S. Baba, I. Karube and Z. Dubinsky, 2000. Physiological and biochemical response to salt stress in the mangrove, *Bruguiera gymnorrhiza*. *Aquat. Bot.* 68:15-28.

○白岩卓巳著『絶滅危惧植物水生シダは生きる』
(自費出版, 2000年10月, A5版255p, 頒価4,000円 (送料含む))

神戸市内の小学校に勤めながら水生シダの調査を続けてこられた著者が, これまでの観察記録と考察をまとめて刊行にこぎつけられたのが本書である. 今までシダの本の片隅で扱われてきた水生シダだけを一冊まるごと取り上げた本は例がないだろう. 取り上げられているのはサンショウモ, オオアカウキクサ, デンジソウ, ミズニラ, ミズワラビで, いずれも絶滅危惧種として関心の深い種である.

それぞれの種 (実際には属) について各章が割り当てられ, それぞれの冒頭に多数のカラープレートがある. 自生状態や形態のほか孢子の形成・発芽・受精の写真など, 日々の観察の中から希有の機会をとらえて撮影に成功したものが数多く含まれ, 教科書の記述をくつがえすような事実の記録もとどめられている. ミズニラの「無融合生殖」の写真など, 学術的な検証が必要ではあるが, 世界で初めての観察ではなかろうか.

本文は著者の体験にもとづく持論が展開されていて, 後に続く者には示唆に富む内容になっている. これから水生シダを観察しようとする者には必携の書と言える.

ご購入の方は著者に直接申し込またい.

567-0011 神戸市灘区鶴甲4-7 21-507

白岩卓巳

電話/ファックス 078-821-4615

郵便振替 00940-1-155739

○G. E. Crow and C. B. Hellquist "Aquatic and Wetland Plants of Northeastern North America Vol. 1 & 2" (The University of Wisconsin Press, 2000, Vol. 1: 480p; Vol. 2: 400p)

N. C. Fassett "A Manual of Aquatic Plants" (1957) は, 私が水草の研究を始めた頃にアメリカの水草を知る上ではもっとも包括的な出版物であったが, その対象を湿生植物まで含め, また新たな知見を加えて増補改訂版としてまとめられたのが本書である. タイトルのようにアメリカの一部地域しかカバーしていないが1,186分類群を取り上げた大部の本になっている.

個々の種の解説が短いのは Fassett のマニュアルの踏襲だが, 検索表は充実している. アメリカの他の地域を対象にした類書に比べると内容が薄い (新鮮味のある情報に乏しい) という印象を否めないが, 広範な種をカバーすることを優先したのだろう. 外来種が水草の世界でも増えている現実を考えれば, 手元にあると便利な本といえよう.

(角野康郎)